



2020年10月9日
統合幕僚監部

2020年度上半期の緊急発進実施状況について

1 全般

2020年度上半期の緊急発進回数は371回であり、前年度の同時期と比べて99回減少しました。

推定を含め、緊急発進回数の対象国・地域別の割合は、中国機約63%、ロシア機約36%、その他約1%でした。

2 方面隊別の状況

方面隊別では、北部航空方面隊が116回、中部航空方面隊が13回、西部航空方面隊が48回、南西航空方面隊が194回の緊急発進を実施しました。

前年度の同時期と比べて、北部航空方面隊については緊急発進回数が増加し、中部航空方面隊、西部航空方面隊及び南西航空方面隊については減少しました。

3 2020年度上半期の特徴

中国機に対する緊急発進回数は234回であり、前年度同時期と比べて98回減少しました。ロシア機に対する緊急発進回数は134回であり、前年度同時期と比べて1回減少しました。

2020年度上半期は、特異な飛行として計8回公表しました。

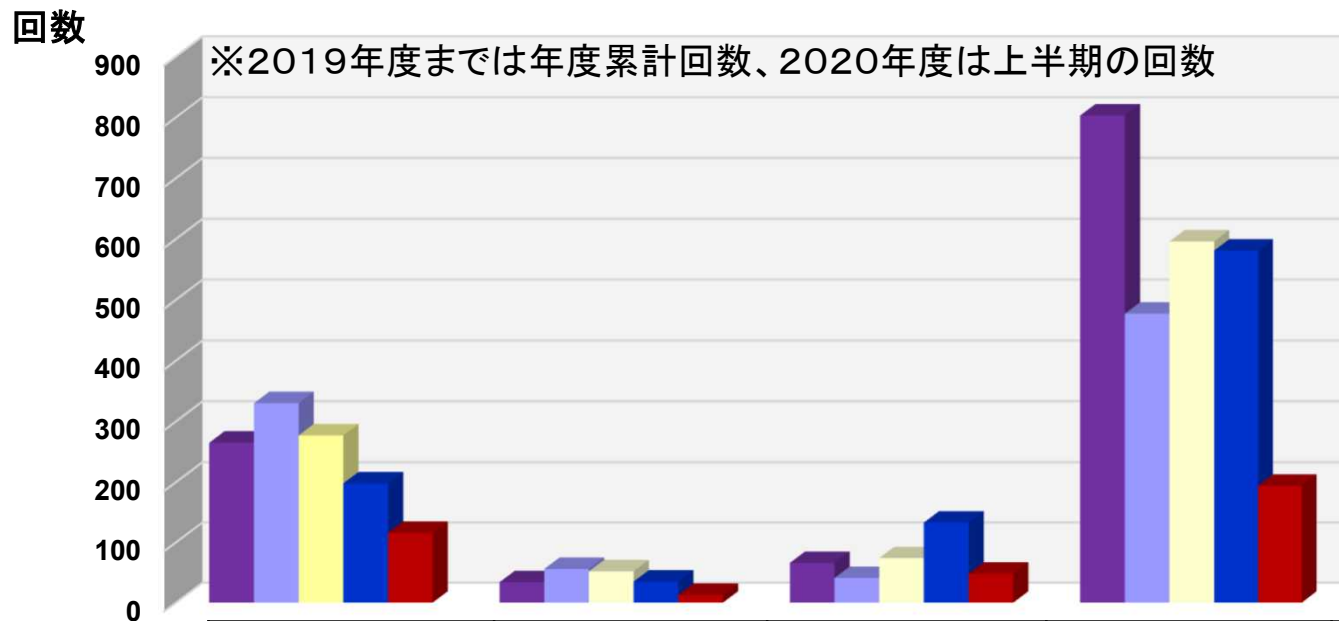
推定を含め、中国機及びロシア機の中では情報収集機に対して多く緊急発進を実施しました。

対象期間は、2020年4月1日～2020年9月30日です。

- 添付資料： 1 航空方面隊別緊急発進回数の推移（過去5年間）
2 国・地域別緊急発進回数（過去5年間）
3 緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例
4 2020年度における特異飛行公表事例一覧（上半期）
5 年度緊急発進回数の推移

航空方面隊別緊急発進回数の推移(過去5年間)

2020年9月30日現在



	北空		中空		西空		南西空		合計	
	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期
■ 2016年度	265	161	34	17	66	34	803	382	1168	594
■ 2017年度	330	229	56	34	41	17	477	281	904	561
■ 2018年度	277	170	52	30	74	35	596	326	999	561
■ 2019年度	198	93	35	19	133	62	581	296	947	470
■ 2020年度	—	116	—	13	—	48	—	194	—	371

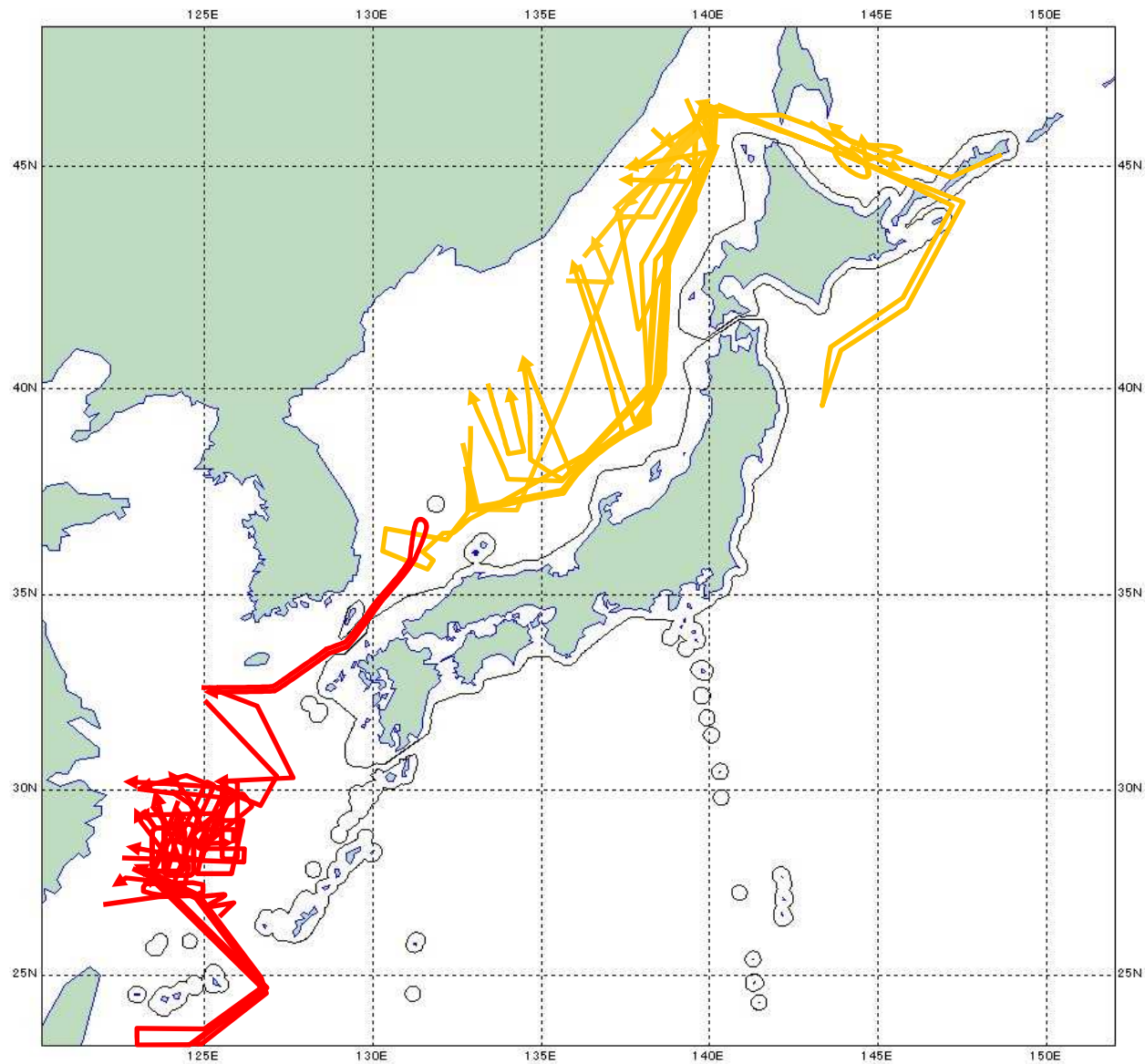
国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

2020年9月30日現在

国・地域 年度	ロシア		中国		台湾		北朝鮮		その他		合計	
	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期	年度	上半期
2016年度	301	180	851	407	8	5	0	0	8	2	1168	594
2017年度	390	267	500	287	3	1	0	0	11	6	904	561
2018年度	343	211	638	345	0	0	0	0	18	5	999	561
2019年度	268	135	675	332	0	0	0	0	4	3	947	470
2020年度	—	134	—	234	—	0	—	0	—	3	—	371




※ 国・地域は、推定を含む。

緊急発進の対象となったロシア機及び中国機の飛行パターン例


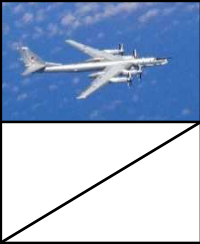




→ : 中国機の経路 → : ロシア機の経路

2020年度における特異飛行公表事例一覧(1四半期)

公表回数	月 日	対象機の国籍等	行動概要	写真
1	2020年4月9日(木)	ロシア IL-38 2機	オホーツク海から日本海を長距離飛行	
2	2020年6月10日(水)	ロシア IL-20 1機	日本海を長距離飛行	
3	2020年6月22日(月)	中国 Y-9 1機	東シナ海から対馬海峡を通過し日本海を往復飛行	
4	2020年6月28日(日)	中国 H-6 2機	東シナ海から太平洋を往復飛行	

2020年度における特異飛行公表事例一覧(2四半期)

公表回数	月 日	対象機の国籍等	行動概要	写真
5	2020年8月14日(金)	ロシア IL-20 1機	日本海を長距離飛行	
6	2020年8月19日(水)	ロシア Tu-95 2機	日本海を長距離飛行	
		推定ロシア 6機		
7	2020年8月28日(金)	ロシア IL-38 2機	日本海を長距離飛行	
8	2020年9月25日(金)	中国 Y-9 1機	東シナ海から太平洋を往復飛行	

年度緊急発進回数推移

2020年3月31日現在

回数

